



7
 2019

主 題 (2019/2020)

国 際 会 長 : Building today for a better tomorrow. On the MOVE!
 「より良い明日のために今日を築く」 「さあ動こう！」

ア ジ ア 会 長 : Action! With Pride and Pleasure.
 「アクション！」 「誇りと喜びを持って」

西 日 本 区 理 事 : Be wind, Be light. Spirit and Purpose in our Lives.
 「風となれ、ひかりとなれ」「こころ豊かにあるために、輝くために」

中 西 部 長 : We can do it!
 「為せば成る！」

大 阪 ク ラ ブ 会 長 : Let's enjoy Y's Life!
 「楽しもうワイズライフ！」

会 長	脇 本	博	博
直前会長	脇 本	博	
副会長	清 水	汎	
	豊 島	正 利	
	森 嶋	弘 明	
書 記	北 村	知 三	
会 計	牟 大	盛	
ブリテン	清 水	汎	
連絡主事	濱 添	吉 生	

【今月の聖句】

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずですが、神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていただきます。」

コリント人への手紙 10 章 13 節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

試練にあった時、まず考えたいことは、試練に遭わせるように導いた神様の目的があるということです。無駄な試練は神の中にはありません。ただ解決の模索するのではなく、神様の導きがないか、考えましょう。逃げるのではなく、苦しみも向きあって見ましょう。私達に成長するきっかけになる苦しみではないでしょうか。普段感じなかった神様の愛を特別に感じる時ではないでしょうか。試練に打ち勝つ力をいただく時です。

試練と共に、脱出の道を備えて下さる神様の計画を期待しましょう。脱出の道が用意されていることを信じ、試練から来る痛みに向きあきましょう。

(ホームページ「恵み深い聖書の言葉」より引用)

【巻頭雑感】

清水 汎

令和の新しい時代が始まりました。平成天皇の御生存の譲位でしたので、平成の始まりの時とその様子は全く異なり、明るく国民の皆さんが心から喜び、大変なお祝いムードが全国に広がったようです。平成の時代は戦争はなかったが、災害・経済不況が続き、国民も心が暗くなっていたようです。平成天皇が皇后と共に国民に心から尽くされました。日本国民も努力して旧体制の改革を遂げ、新しい産業で成功して

いるところが多くありますが、多くの企業が売上げが安定せず、雇用も非正規の社員が4割と多く、多くの家庭の収入が不安定となっています。国民の祝賀ムードも天皇が国民に寄り添い共に生きていくことを宣言されていることによる面が多くあります。朝鮮半島の不安定は、北は独裁の維持で国民は困窮し、南は右と左が極端に政策が異なり政治が非常に不安定であります。日本の政治もいろいろと問題がありますが、天皇の御心が国民を安心させるところがあり、政情不安を防いでいるところが大いにあります。天皇制度と日本の国民の心が日本を守る基になっているのではないかと、私自身は思っています。

【7月例会プログラム】 (KICK-OFF, EMC-C強調月間)

と き：2019年7月9日(火) 18:30～20:30

ところ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 1,000円

司会：北村メン

1. 開会の鐘 脇本 博 直前会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 脇本会長挨拶・会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
6. 総会
 - 1) 決算報告 牟 大盛 会計
 - 2) 新年度予算提出 牟 大盛 会計
 - 3) 会長方針発表と意見交換会 脇本 博 会長
 - 4) 新年度各事業委員長の挨拶と計画
10. 皆勤者、精勤者の表彰
11. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
12. インフォメーション・YMCAニュース
13. 閉会の鐘 脇本 博 会長

受付：濱添・牟・北村メネット

★今月の誕生日：該当なし

★メネットさんお誕生日：末岡玲子(4) 脇本真知子(28)

★ご結婚記念日：該当なし

【第2例会のご案内】

と き：2019年7月16日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA会館 701号室

(変更になることもあります)

【6月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	14	10 (71.4)	1	7
広義会員	2	0	0	
計	16	10	1	7

☆ニコニコ献金； 13,000円

★メネット； 脇本真知子メネット会長

★ビジター； 掛谷太郎様（大阪茨木）中西部部長、野田将弘様（大阪茨木）中西部事務局長
湯浅禎也様（大阪西）中西部EMC事業主査
芝田光雄様（大阪センテナル）中西部国際・交流事業主査
今井利子様（大阪なかのしま）

★ゲスト； Miss Ashley Gardea（昨年度パサディナクラブからの交換留学生）
山原雅弘様（売布産業）

【6月例会報告】

牟 大盛

6月例会は今期年度末の例会で、今期の評価と計画強調月間です。また、次期中西部掛谷部長をはじめ、中西部キャビネットの公式訪問日でもありました。また、昨年のパサデナクラブからの交換ホームステイ学生、アシュレイ・ガルデアさんも田尻メンのご案内で参加されました！

清水汎メンの司会で例会がはじまりましたが、脇本会長の開会点鐘の後のワイズソングを敢えて、英語で皆斉唱しました。

脇本博会長の来期も継続して2期会長を務められるとの事で、来賓の掛谷次期部長立会いの会長交代式は割愛し、その代わり部長主題「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」をご披露され、「中西部はあと20年後には消滅」との予測が立つので、一にも二にも会員増強（EMC）に尽きるとの事を強調されました。野田将弘次期事務局長はメンスリーレポートの協力要請と、茨木クラブとしてJC（青年会議所）とのコラボで行事に参加する事のご報告がありました。湯浅禎也次期EMC事業主査は、掛谷次期部長と共に各クラブの会員増強に尽力する旨話されました。芝田光雄次期国際交流主査は、古切手の収集は手間がかかるが、各クラブの大事な活動であることを強調したいと話されました。私は、次期Yサ・ユース主査として、10月19日に六甲山YMCAでYYYフォーラムを予定し、午前中は例年の、設備整備事業をすることを披露いたしました。

また、アシュレイ・ガルデアさんは田尻メンの通訳を通して、昨年のホストファミリーのお名前を上げながら、いわゆる心のこもったおもてなしを受けて、ご自分の人生を大きく変えたとお話で、その結果六甲山YMCAでのGYC（グローバル、ユースコンフェレンス）にスタッフとして8月まで参加するなど、将来日本との関わりをもった活動をしたいとの嬉しいご挨拶でした。

クラブの事業委員長の今期を振り返る時間です。先ず、国際交流です。脇本博メンから今年8月には、藤岡宏樹メンの次女のご令嬢をパサデナに交換ホームステイ候補としており、パサデナ会長からは8月

初旬の子どもキャンプへの参加を希望しており、日程を調整中とのお話でした。地域奉仕・環境分野は書記の北村知三メン（次期EMC事業委員長）より、いこいの家の炊き出し奉仕継続と会員増強に努める旨お話がありました。また、脇本真知子メネット会長からは、人員減少のおり何とかしてクラブを支える旨お話がありました。植野正弘メンからは、日米中学生バスケット交流のお話と、できるだけクラブ例会参加の旨のお話でした。小川健一郎メン（総主事）からは、多忙を極め例会出席もままなりません、出来るだけの例会出席の旨お話がありました。また、末岡祥弘メンからは、4月開講の水都国際学校（中学校）が順調に運営されておられる旨お話がありました。藤岡宏樹メンからは、今年8月のマレーシアでの国際HH（聴覚障がい）キャンプの説明会と手続きや募集方針についてお話がありました。ゲスト、今井利子メンのご挨拶の後、誕生祝い、インフォメーションのあと、脇本会長の閉会点鐘で6月例会を終えました。

今期は、尾和信孝メンがご逝去され仲間が減った時期ですが、来期はよりフレッシュな会員が一人でも多くご入会頂き、YY協働事業をより広く展開したいと思ったのは、私だけでは無かったと思います。



【6月第2例会・役員会報告】

日 時：2019年6月18日（火） 19：00～20：30

場 所：土佐堀YMCA701号室

出席者：脇本会長、牟大盛、田尻忠邦、脇本真知子メネット会長、北村知三

協議事項：

1) ー7月例会（KICK-OFF,EMC） 7月9日（火）6：30PM～8：30PM

会長方針と今期の各事業委員長・委員の事業計画について

Yサ・ユース： 国際交流： EMC： 地域奉仕環境： メネット： HHリーダー会：

会計報告と新年度予算

司会；北村 受付；濱添・牟・北村メネット

*クラブ月例会にYMCAのスタッフや教員など会費無料招待とする。

ー8月納涼例会の件；8月9日（金） 19：00～21：00

場所；キャッスルホテル1F「カフェ・ルポール」 会費；4千円

*8月例会だけお盆期間を避けて、その前週の金曜日を例会日とする。

*内容は納涼例会（フリードリンク）

ー9月例会以後の卓話候補者を選定及び検討した。

2) その他協議事項

① 他クラブ周年記念例会について

・今年創立70周年を迎える熊本クラブ（チャーター月8月）と和歌山クラブ（同12月）の両クラ

ブについて、相応の返礼をすることを再確認。確定周年記念日は不明。

② 区大会・部会・イベント（*印は大阪土佐堀YMCA行事）について

—6月22日（土）～23日（日）西日本区大会 場所：ロームシアター京都／ウェスティン都H

参加申し込み：清水汎メン、北村メン、牟メン、田尻メン

—7月19日（金）～21日（日）アジア太平洋地域大会 場所：仙台国際センター

参加申し込み：脇本会長、清水汎メン、小川メン、田尻メン、脇本メネット

*上記3大会の申込みは個人申請

—*「土佐堀サマーセミナー」7月28日（日）9：00～16：30

*申し込みは6/29（土）AM10：00～

—*“Global Youth Conference” 8月6日（火）～9日（金）

—8月3日（土）～9日（金）HH国際キャンプ 場所：クアラルンプール、ペナン

—（9月以後の部会、YMCAのイベントについて、別途スケジュールを下記に表示）

③ 8月にクアラルンプールで行われるHH国際キャンプについて

大阪クラブのHH支援事業として、HHボランティアを中心に継続支援を再確認。

④ パサディナクラブ交換留学生について、脇本IBC委員長から現状報告があった。

派遣留学生は藤岡メンのコメントに決定。またパサディナ受け入れ時期について、こちらからの希望は8月下旬～9月上旬であるが、現地YMCAキャンププログラムに合わせて、パサディナクラブから8月初旬の時期がどうかという問い合わせがあり、現在時期のすり合わせ中である。

⑤ 新年度のスケジュール、会員人事の件

・新年度の年間スケジュール表が示され、クラブメンバー異動（広義会員2名）と、役員人事については若干の変更があったが、ほとんど前年度と変わらないこととなった。

詳しくは7月例会で報告される。

・ブリテン編集の件では、新年度例会報告担当者を、北村が決めて7月例会で報告する。

・月例会場は引き続き10階チャペル室を使い、日程に合わせて予約を済ませている。

⑥ 今年度決算案と次年度会計の予算案について、牟会計より報告があった。

・次年度への予算案については、クラブ事業費のそれぞれについて献金の是非や献金額を検討すること、また例会での記念品贈呈は誕生日プレゼントだけにすることが決まった。

* 9月以後の部会、YMCAのイベント（*印は大阪土佐堀YMCA行事）

9/01（日） 京都部部会（Hオークラ（京都））

9/07（土） びわこ部部会（Hニューオータニ）

9/08（日） 中部部会

9/16（月・祝） 阪和部部会（シティプラザ（大阪））

9/21（土） 九州部部会

9/23（月・祝） チャリティラン 場所：鶴見緑地

9/28（土） 瀬戸山陰部&六甲部部会（ベイシェラトン）

10/05（土） 中西部部会（茨木スカイレストラン）

10/09（水） 中西部・Yチャリティゴルフコンペ

- 10/19 (土) YYフォーラム (六甲YMCA)
- 10/26 (土) 西中国部部会
- * 11/04 (月・祝) 土佐堀カーニバル
- 11/04 (月・祝) びわこ部部会
- * 11/23 (土) 大阪YMCA大会
- * 12/06 (金) 土佐堀Yクリスマスコンサート
- * 12/21 (土) 土佐堀Yユースリーダーの日の集い

「第22回西日本区大会参加報告」

北村 知三

6月22日(土)、阪急京都「烏丸」経由、地下鉄「東山」駅で降りた時には、自宅からすでに2時間近く経っていました。暑い陽ざしと開会時間までの時間的余裕がなかったので、会場の「ロームシアター京都」までタクシーに乗って行きました。遠藤道寛理事(大阪泉北)と石津雅人書記(大阪センテニアル)などが会場入口で出迎えていました。メイン会場の中に入ると、客席はバルコニー席が2階から4階まで両側にあって収容人員2千席ほどの相当な広さです。大会参加者800人ほどのうち、500人ほどは出席していると思えました。今大会は資源保護の観点からペーパーレスの試みで、従来印刷されていた紙面による会場プログラム案内などがなく、スマホでQRコードを読み取って資料案内にすることになりましたが、我々IT社会の中でのガラケイ族にとっては、読み取りができず少し不便なものでした。

開会時刻の1時より少し過ぎて幕が開くと、女性チェリストの演奏でワイズソング「いざ立て」が流れました。演奏が終わると、正面スクリーンに表示された各部各クラブの部会長が舞台に向かって右側から出て、舞台中央で待つ遠藤理事と一人ずつ握手し、左側に退場するという形のバナーセレモニーとなりました。9部85クラブが舞台中央で勢ぞろいして、第22回西日本区大会の雰囲気盛り上がってきました。もちろん今年度新クラブの「とやまクラブ」と「熊本五福クラブ」も加わったことです。

遠藤理事の開会歓迎あいさつのあと、YMCA同盟総主事、アジア太平洋地域会長、東日本区理事の来賓3人の祝辞がありました。石津書記から、午前中に行われた代議員会で、西日本区一般・会計年次報告、決算監査報告、予算案などすべて承認されたことが報告されました。議決された次期と次次期の理事、及び来年の西日本区大会の開催地などについて、脇本会長から預かっている資料から抜粋して下段に紹介します。

- ・ 2019/2020年度西日本区理事 : 戸所岩雄ワイズ (彦根シャトー)
- ・ 2020/2021年度西日本区理事 : 吉田祐和ワイズ (京都トゥービー)
- ・ 第23回西日本区大会 : 日時・・・2020年6月13日(土)～14日(日)

場所・・・大会会場 大津市民会館 懇親会会場 琵琶湖ホテル

10分ほどの休憩をはさんで、メモリアルアワーでは、一年間に亡くなったワイズメンの遺影をしのぶ言葉とともにさびしい感傷のときが流れました。なかでもつい先月旅だった我がクラブの尾和信孝ワイズの遺影と言葉には、改めて個人的にも寂寥の感を抱きました。続いて各部部長により部長報告が行われ、中西部は谷正一部長(大阪西)が報告をしました。今年度の奈良伝賞は、西村清ワイズ(名古屋)と三浦克文ワイズ(岡山)が選ばれ、壇上で遠藤理事から賞状が渡されました。また西日本区の今期のYMCA関連の活動について、YMCA同盟から遠藤理事に感謝状が渡されました。

さらに10分ほどの休憩をはさんで、計4クラブの出席メンバー全員が舞台上に集まって、IBCとDBCの締結式が行われました。IBCは、京都トゥビークラブと台湾台北A-Listクラブ。またDBCは、京都ZEROクラブと長浜クラブです。さらに「ワイズ将来構想特別委員会」のメンバーが、森田恵三委員長（京都ウエスト）を中心に舞台上に勢ぞろいして、「新生ワイズ起こし運動」への取り組みをアピールしました。

かくして大会一日目は4時半に終了。バスでウェスティン都ホテルに会場を移して、6時半から懇親会が行われました。懇親会の始めごろ、門川大作京都市長のご挨拶は、ワイズの地域活動への賛辞から始まって、最近の日本社会への思いから「世界の平和」という言葉で締めくくるといふ、親しみある内容と話しぶりでした。中央に低めのステージが設置され、サクソとベースとピアノのトリオ演奏は、なかなかのテクニックと感じましたが、広い会場でざわざわした交流のなかでは落ち着いては聴けませんでした。恒例の参加各クラブの紹介もありませんでした。年に一度の親睦交流をテーマに進められた大懇親会でした。

大阪クラブから、清水汎さん、豊島さん、牟さん、田尻さん、北村の5名出席でしたが、懇親会の終了間際には、会場を後にしました。

翌日の第2日目は、早朝のチャリティラン、聖日礼拝、各事業報告とクラブ表彰や感謝状の授受が行われました。

ともあれ、遠藤理事の2年間のご奉仕、キャビネット、事業主任、各部長のみなさま、一年間のワイズ活動ご苦労様でした。また成功裏に終えられた大会ホストクラブの京都トゥビークラブのみなさまお疲れ様でした。



【2019年度 キックオフにあたって】

会長 脇本 博

ワイズメンズクラブは7月から新しい年度が始まります。昨年度に引き続き今期も会長を務めさせて頂くことになりました。各事業委員の皆様も同様に各事業を引き継いでくださるようお願い申し上げます。昨年度は90周年記念祝会を日本のワイズ運動発祥の地、大阪YMCAで賑々しく開催することが出来ました。偶然、西日本区の役員会と日取りが重なったにも拘わらず、西日本区の遠藤理事を始め多くの役員の方々が時間を調整してお祝いに駆けつけてくださいました。全国から180名の参加で会場は埋め尽くされ、ワイズ運動に携わる皆様の熱気とエネルギーを身近に感じ、元気を頂戴しました。日本におけるファーストチャータークラブとしての重さを感じずにはおられません。さて、今季は正会員12名、広義会員2名、連絡主事1名、総勢15名のワイズメンで活動開始となります。今期の活動の柱を列挙します。

国際HHキャンプ（8月3日～8月8日）

マレーシア・クアラルンプール、ペナンで開催されます。大阪クラブが支援するメイン事業ですから、クラブの青少年聴覚障がい者教育支援事業基金からそれなりの財政的支援を検討中です。キャンペーの

OBやOGが成長し、HHキャンプリーダー会に参加してくれているという嬉しいニュースもあります。国際キャンプに先立ち、六甲YMCAで準備会を計画しています。財政支援のみならずクラブ員も参加して人的支援もできれば良いと考えています。

日米夏季学生交換留学制度（IBC活動の一つ）

今年は大阪クラブからパサデナに学生を送る順番です。6月末現在、藤岡メンの2番目のお嬢さんが候補に挙がっていて、現在パサデナクラブのジェフ会長と日程調整をしているところです。昨年米国から来日したアシュレイ・ガルディアさんは、本人の希望通り米国の高校の歴史の教員となり、今年も6月1日に来日されてYMCAインターナショナルスクールのアシスタントティーチャーとして活躍されています。8月上旬まで滞在予定とのこと。大阪クラブがお世話した学生と再会できるのは喜ばしいことです。ちなみに10年ほど前に来日したケビン君は、横浜で英語の先生をしているそうです。

釜が崎いこいの家（地域支援活動）

例年どおり地域奉仕活動として取り組みます。衣類その他ご家庭で不要になった物資など送ってください。茨木クラブさんも大阪クラブの呼びかけで年末に馬鈴薯を送っているそうです。

EMC

新メンバー獲得は喫緊の課題です。去年は2名入会でした。ワイズ運動の良いところは単に社交だけではなく、奉仕活動を共にしたところから育まれる人間関係です。それにはやはり時間を要します。そのような魅力を味あわないうちに退会されるケースが多かったのではと思います。部会や他クラブ訪問も活発にしたいものです。今期、少なくとも3名の新会員獲得に向けて動きたいと思っています。

クラブ会計

今までキックオフの時に歴代会長においてもクラブ会計についての厳しい言及はなかったのですが、あえて申し上げます。現在実際に活動できる人員は少なく、活動面においてもまた会費等の財政面においてもクラブ活動はじり貧状態にあります。一般会計の赤字をニコニコ資金で充当していますが、健全な財政状態ではありません。青少年聴覚障がい者教育支援事業基金も先細りの状態です。それなりの対策を早い目に講じる必要があると思います。

昨年度は皆様の多大な御協力で、様々な支援事業や交換留学生のお世話、祝会などの大事業を滞り無く済ませることができました。行き届かない点多々あったと思います。至らなかった点は今期に生かしたいと思います。皆様のご支援がなければうまく活動できません。今期も昨年度同様ご支援ご協力の程、切にお願い申し上げます。

【パサディナワイズメンズクラブ交換留学生アシュレイ・ガルディアさんのメッセージ】

田尻 忠邦

昨年夏、パサディナワイズメンズクラブとの交換留学生で来日したアシュレイ・ガルディアさんが、大阪ワイズメンズクラブからの派遣で参加したグローバル・ユース・カンファレンスの経験から、今年は大阪YMCAのグローバルインターンとして再来日して6月例会に出席してくれました。以下はその時のあいさつ文です。

Last year, I was given the opportunity to go to Japan as part of a cultural exchange through the Pasadena and Osaka Y's Men Club. As part of the exchange, I was asked to attend a Global Youth Conference. I did not know much about the conference at the time, but I looked forward to attending. While I was in Japan, I had a great time seeing the historical sights and meeting all types of people. Everyone was so kind and welcoming so I immediately fell in love with Japan. Towards the end of my stay, I attended the Global Youth Conference. At this conference, I was amazed to see so many people from all over the world coming together. I made many friends and learned a lot about other cultures.

The GYC surpassed all of my expectations by encouraging youth engagement in world affairs, creating fun and stimulating cultural activists, and by establishing an environment where young people from across the world could build friendships. During the GYC, I learned about the internship program. Because I am studying to become a teacher, I was interested by the international high school teaching assistant position and I thought it would be a great way to revisit Japan and attend the conference a second time. I am extremely grateful for this opportunity and I look forward to attending the GYC and continuing to grow as a person through this internship.

昨年、私はパサディナワイズメンズクラブと大阪ワイズメンズクラブの文化交流プログラムの一環で日本に来る機会を与えられました。また、グローバルユースカンファレンス（GYC）に参加することも求められました。その時は、GYCについて詳しくは知りませんでした。でも参加することを楽しみにしていました。日本滞在中には、歴史旧跡を訪れ、様々な人と出会い素晴らしい時間を過ごしました。会う人はどの人もとても親切で、温かく迎え入れていただきましたので、一遍に日本のことが好きになりました。私の日本滞在の終わり近くに GYC に参加しました。この青年国際会議で世界中の国から若者が集まって来ている事に驚きました。たくさんの友達が出来ましたし、異なる文化の事もたくさん学びました。GYC は、若者を世界的課題に関わりを持たせ楽しく刺激的な文化活動があり、世界中からやって来た若者と友情を育むことのできる環境は、私の期待をはるかに超えるものでした。GYC に参加して、グローバルインターンシップの事を知りました。私は教師になる勉強をしているので、大阪 YMCA の国際高校でのティーチングアシスタントに関心を持ちましたし、日本を再訪問して GYC にも二度目の参加ができるととても良い方法だと思いました。今回インターンシップの機会を与えられたことに感謝するとともに GYC に参加する事と、このインターンシップを通じて人として成長する事も楽しみにしています。

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

☆第315回早天祈祷会☆

日時…2019年7月21日（金） 7:30~8:30

証し…鈴木 一弘 さん（学生YMCA関西地区共働スタッフ）

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

大阪ワイズメンズクラブ会費お振込のご案内

クラブ会計 牟大盛

ご苦労様です。ワイズダムへのご奉仕感謝申し上げます。

毎年7月からワイズの新年度となります。

つきましては、今期の前期（半期）の会費 35千円または
全期 7万円を次の口座にお振込み願います。

尚、広義会員は、全期 25千円です。

記

近畿大阪銀行 鶴見支店

普通預金 口座番号 0536140

名義； 牟 大盛（モウ テエソン）

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

強さより 弱さが距離を 縮ませる

古き芸 プロとんでも 生きづらい

改元に 自分は何も 変わらない

弥栄に 平成令和 晴ればれと

打ち解けて 心が緩み 人の味

期が変わり 後の振り当て 苦労あり

【編集後記】

新しい期に入りました。国も改元され新しい年になりました。令和が日本の国に弥栄と平和が続けるように心から祈りたいです。東アジアは、これから大きな変化をいろいろと起こすことが予測されます。ワイズの繁栄も取り戻したいものです。

（編集委員：清水 汎）